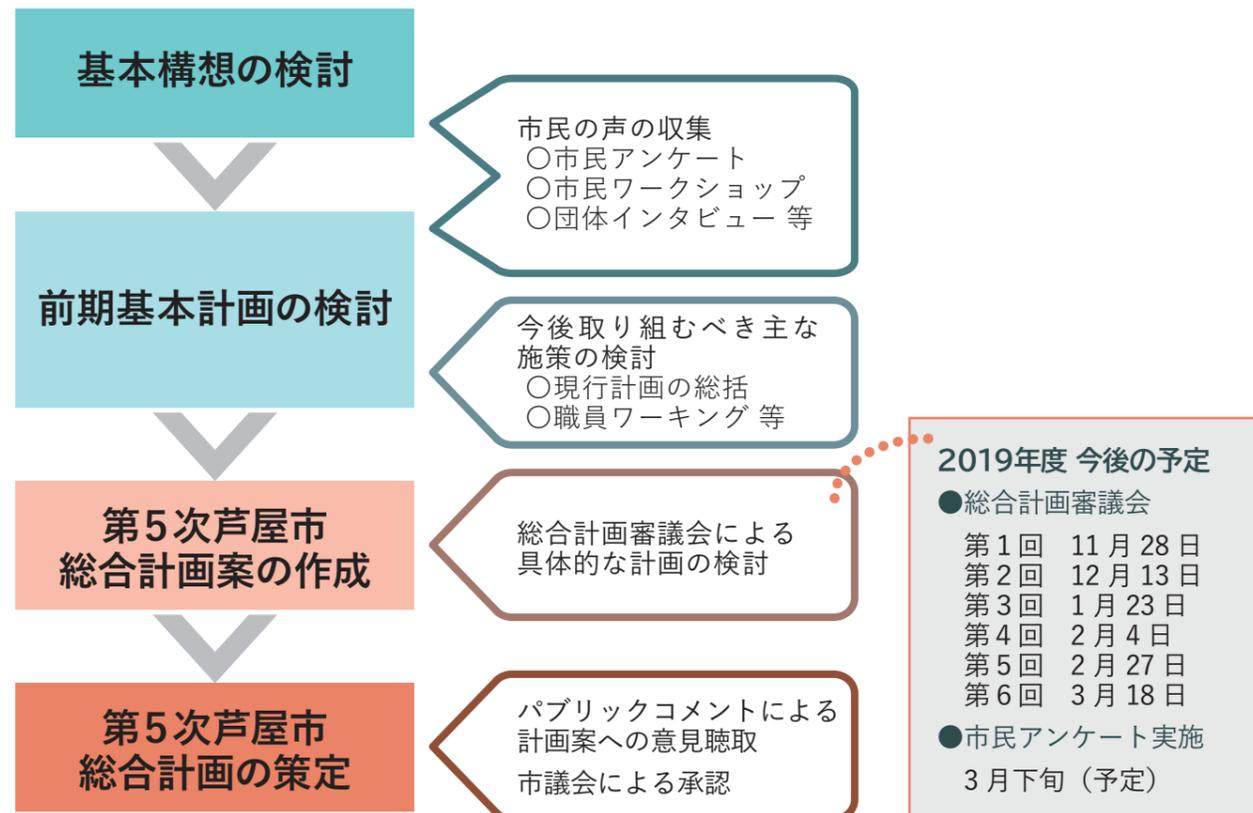


# これから総合計画審議会で詳細に検討します

## 5次総計策定の流れと今後の予定

5次総計策定の大きな流れは以下の通りです。現在は前期基本計画の検討を進めており、今後、総合計画審議会で詳細な内容を検討していきます。また2019年度末には、前期基本計画で設定する指標等の現状を把握するため、市民アンケートを予定しています。



## 総合計画審議会とは？

総合計画審議会は、総合計画に関する調査、審議をするための外部機関で、幅広い意見が出るように、様々な立場の方で構成されています。

### 総合計画審議会委員の構成

- 学識経験者6名（防災、福祉、子育て教育、行政経営、協働、都市計画などの専門家）
- 市議会議員3名（芦屋市議会より推薦）
- 市民団体代表4名（社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、コミュニティ・スクール連絡協議会より推薦）
- 市民委員4名（公募）

これまでの総合計画の策定については芦屋市 HP に掲載しています

🔍 第5次芦屋市総合計画



(問い合わせ) 芦屋市役所 企画部政策推進課 芦屋市精道町7番6号  
TEL 0797-38-2127 (直通) FAX 0797-31-4841

# SouKeiNEWS

## No.05

芦屋市総合計画策定 Project 総計ニュース 第5号 2019年11月  
芦屋市政策推進課発行



2018年度から始まった、「第5次芦屋市総合計画（5次総計）」策定に向けたプロジェクトでは、市民ワークショップや市民アンケートなどを終えて、計画内容の検討を進めています。令和2年度末策定というゴールまでの折り返し点にやってきた、プロジェクトの現在についてお知らせします。

## 総合計画って？

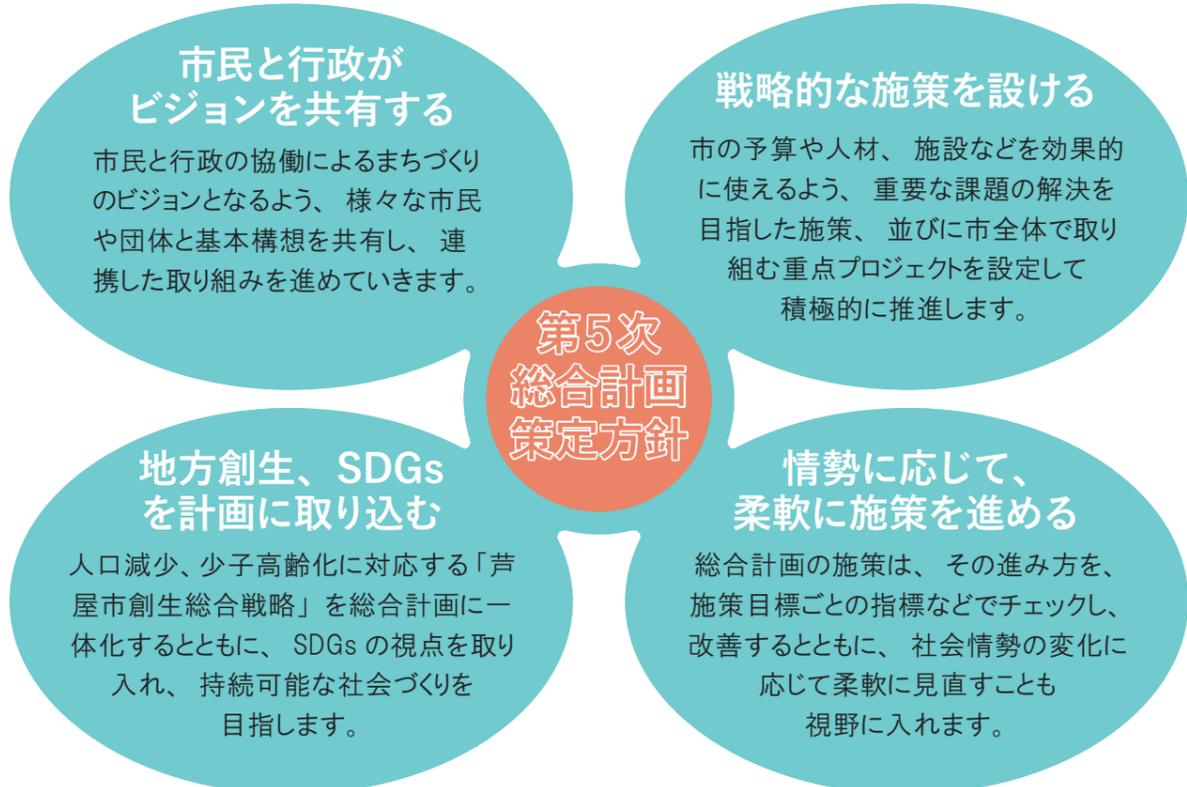
10年間のまちづくりの指針となる、芦屋市の最上位の計画です。現在の「第4次芦屋市総合計画」は令和2年度が最終年度となり、令和3年度から新たに5次総計が始まります。計画は、基本構想、基本計画、実施計画で構成されます。

### 総合計画の3層構造



# 4つの方針を重視して5次総計を策定します

変化の激しい時代における芦屋市のまちづくりの指針となる5次総計は、次の点を重視して策定していきます。



SDGs：2015年の国連サミットで採択された国際目標で、持続可能な世界を実現するためのゴール・ターゲットから構成されます。地方自治体においても、SDGsの観点を取り入れることで、生活、経済、環境などを総合的に向上させることが期待されます。

# 市民提案の将来像は計画のキャッチフレーズに

2018年度の市民ワークショップでは基本構想の将来像が提案され、現在、そこに込められた思いを活かして将来像を検討しています。そして、「ASHIYA SMILE BASE」のフレーズは、市民と職員がわが事として総合計画に関わり将来像を実現していくためのキャッチフレーズと位置づけ、様々な場面で使っていきます。

## 市長からも発信中！

いとう市長が、市民のみなさんと直接意見交換するランチミーティングやオープンミーティングで、新しい総合計画について説明を行い、キャッチフレーズ「ASHIYA SMILE BASE」を発信しました。



### 市民ワークショップ提案による将来像

アシヤ スマイル ベース  
**ASHIYA SMILE BASE**  
～みんなの声を活かして、次世代へと人がつながり誰もがイキイキと暮らすまち～

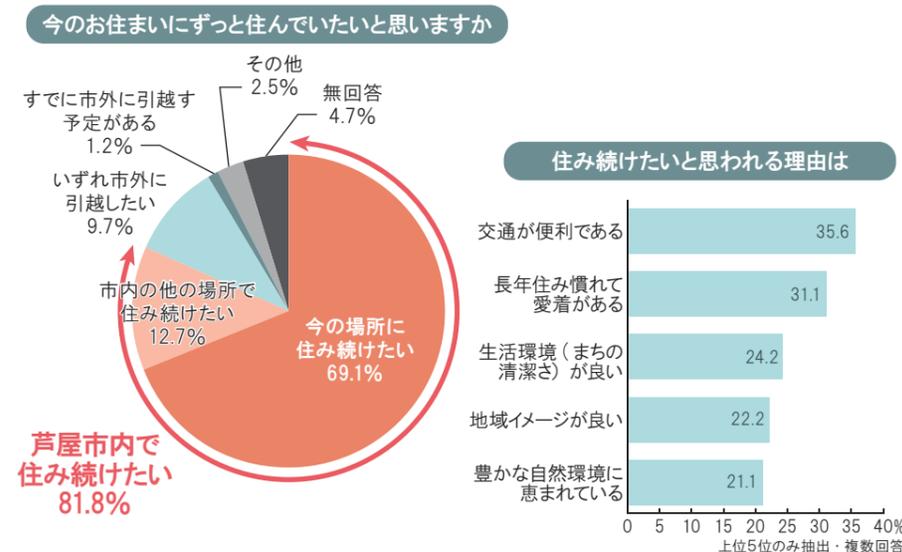
人口減少が進む中でも、ワクワクできる居心地のいい空間が身近にあり、みんなの笑顔があふれるホームタウンとして、将来にわたり住んで良かったと誇れるまちであり続けることを目指すもの。

様々な立場の市民がまちづくりに参加し、ともに未来を見据えて、自分らしく暮らせるまちを創っていくことにより「ASHIYA SMILE BASE」を実現していこうというもの。

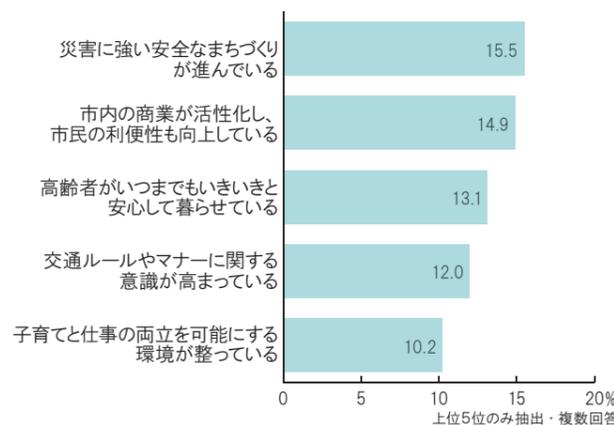
# 市民アンケートで、まちづくりへの意見をいただきました

## 芦屋に住み続けたいと考える市民が8割を超えています

今後も芦屋市内で「住み続けたい」とする人が81.8%に上り、その理由として、交通の便利さ、地域イメージの良さ、豊かな自然環境の他、日常生活の便利さ、美しい景観などが上位にあげられています。



## 力を入れるべき取り組みの1位は災害対策



施策の目標の中で、今後特に力を入れて取り組むべきものは、1位「災害に強い安全なまちづくり」、2位「市内商業の活性化」、3位「高齢者がいきいきと安心して暮らせる」などとなっており、幅広い分野の施策へのニーズが高いことがうかがえます。

### 芦屋のまちづくりについての市民アンケート

- 調査対象：芦屋市在住 18歳以上の市民 3,000人
- 調査方法：郵送による配布・回収（web回答可）
- 調査期間：令和元年5月30日～6月12日
- 有効回収数：1,377件

# 職員WGで前期基本計画の取り組みを検討しました

## 若手・中堅職員の知恵とアイデアを結集

これからの市役所を担う若手・中堅の市職員によるワーキンググループ（45課45人）が、7月から10月の間に全4回のワークショップを行い、①施策分野ごとの主な施策内容、②目標とする指標について議論しました。今後、この検討内容を参考として、前期基本計画を組み立てていきます。

